



受入れ



●計量機(トラックスケール)
搬入されたごみを計量・記録し、集計管理します。



●粗破碎機
粗大ごみをあらかじめ細かく破碎します。



●ごみピット・ごみクレーン
ごみは一旦貯留され、ごみクレーンによりピット内で攪拌などを行った後、溶融炉に投入されます。



●プラットフォーム
投入扉からごみピットにごみを投入します。投入扉を4門有します。



●ごみクレーン運転室
自動運転・手動運転の双方が可能です。

溶融・燃焼



●溶融炉
炉内に装入されたごみは高温溶融処理され、ガスは燃焼室へ、灰分は炉底部で溶融物となって出湯口より定期的に排出されます。



●炉前操作室
出湯(しゅっとう)作業は炉前操作室より安全に遠隔操作します。



●燃焼室
溶融炉より発生した熱分解ガスを燃焼する独立した燃焼室です。

●下段送風加熱装置
溶融炉へ吹き込む空気を加熱することで、溶融炉に必要な化石燃料を削減します。

熱利用



●廃熱ボイラ
燃焼室より送られた排ガスを利用して蒸気を作ります。



●蒸気タービン・発電機
廃熱ボイラから発生する蒸気を利用して発電し、施設内の電力を賄うと共に、余剰電力は売電します。



再生



●水砕ピット
溶融炉直下に位置し、出湯(しゅっとう)した溶融物を急速冷却(水砕)します。冷却後の溶融物はコンベヤにて磁選機へ搬送されます。



●磁選機
溶融物はここでスラグとメタルに分離し、それぞれのホッパに貯留されます。



●搬出・再生
スラグとメタルは、アスファルト合材や、カウンタウエイト(おもり)等に再利用されます。

環境



●ろ過式集じん器
排ガス中のばいじんを高度に除去します。(写真左)

●触媒反応塔
排ガス中のNOx、ダイオキシン類を触媒により分解します。(写真右)

コンピュータ管理



●中央操作室
本施設の頭脳とも言うべき場所で、各設備のデータをコンピュータにて集約・管理しており、モニター画面で常時監視運転を行います。